

一般社団法人 QOL-PRO 研究会

2021 年度 会員総会 資料

日時：2021 年 11 月 20 日（土）12:50 から

会場：オンライン会議

< 次 第 >

1. 2020 年度事業報告並びに収支決算報告（監査報告）
2. 2021 年度事業計画
3. 2021 年度収支予算
4. 名誉会員推薦について
5. 理事数、監事数、社員数に関して
6. その他
 - ・任意団体 QOL/PRO 研究会の 2020 年度事業報告並びに収支決算報告（監査報告）

1. 2020 年度事業報告並びに収支決算報告（監査報告）

2020 年度事業報告 2020 年 11 月 27 日～2020 年 3 月 31 日

以下、定款に基づく事業の区分に振り分けて報告する。

(1) QOL と PRO の研究に関する学術集会やセミナーの企画、運営に関する事業

当該年度の法人としての活動なし。任意団体 QOL/PRO 研究会の当該年度の活動については別紙参照。

(2) QOL と PRO に関する調査・研究事業

① 「日本語版 PROMIS の項目・QOL 質問票開発のための調査業務」サポート業務

株式会社インテージヘルスケアから本業務を受託し、社員 5 名が運営検討委員会に委員あるいはオブザーバとして参画するとともに、社員 10 名と社員以外の会員 10 名が日本語訳のレビューを実施。

(3) QOL と PRO の研究に関する会誌等刊行物の発行に関する事業

当該年度の活動なし。

(4) QOL と PRO の研究の関連領域に関わる国内外の個人、公的機関、学術団体との連絡、協力、連携、および交流に関する事業

当該年度の法人としての活動なし。任意団体 QOL/PRO 研究会の当該年度の活動については別紙参照。

(5) QOL と PRO の研究に関する情報をホームページやメーリングリスト等のウェブサービスを通して提供する事業

当該年度の法人としての活動なし。任意団体 QOL/PRO 研究会の当該年度の活動については別紙参照。

(6) QOL と PRO に関する研究者や専門家等の人材育成と教育に関する事業

当該年度の活動なし。

(7) 前各号に附帯又は関連する一切の事業

1) 細則の作成

法人の円滑な運営のために、細則の整備（入会に関する細則、会費に関する細則、名誉会員推薦に関する細則、評議員および役員選任に関する細則、学術集会に関する細則、各種委員会に関する細則、等）を行った。

2) 理事会の開催

- 2020年度第1回理事会
2020年12月25日メールによる審議が行われ、QOL/PRO研究会の契約者である平成人氏より、社団法人QOL-PRO研究会の契約者である鈴嶋よしみが金500,000円を借り受ける契約の件について承認された。(後に、借り受けはしないことになった)
- 2020年度第2回理事会
2021年2月12日16時から18時まで、オンラインにて実施した。法人化に伴う手続きの確認、次年度の活動予定が確認され、事務局業務委託先を決定した。
- 2020年度第3回理事会
2021年3月10日18時から19時30分まで、オンラインにて実施した。次年度活動内容、議事録の保管方法、次年度の役員交代に伴う引継ぎの方法の確認を行った。
- 2020年度第4回理事会
2021年3月16日、メールによる審議が行われた。虎ノ門総合法律事務所に代表理事および理事の変更登記、必要な書類や議事録作成業務を委託することが決定された。
- 2020年度第5回理事会
2021年3月31日10時から10時15分まで、オンラインにて実施した。宮崎貴久子代表理事が辞任し、後任として鈴嶋よしみが代表理事になることを決定した。

3) 評議員会（社員総会）の開催

- 2020年度第1回評議員会
2020年12月11日（金）19時30分から21時5分まで、オンラインにて実施した。2020年度の任意団体QOL/PRO研究会の総会の議案として、法人の2020年度事業報告・収支決算、2021年度事業計画、予算、等）を掲載すること、その内容について承認された。
- 2020年度第2回評議員会
2021年2月22日（月）18時から19時30分まで、オンラインにて実施した。法人定款細則、アクセライト社への事務局業務一部委託、次年度の役員体制について承認された。委員会活動について報告があった。
- 2020年度臨時社員総会
2021年3月31日をもって宮崎貴久子理事が辞任し内藤真理子理事が4月1日から新理事となることについて、書面（電磁的方法）によって承認された（2021年3月31日）。

<2020 年度計算書類>

貸借対照表

2021年3月31日現在

科目	当年度 (円)	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預金	100		
未収入金	5,500,000		
流動資産合計	5,500,100		
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0		
(2) 特定資産			
特定資産合計	0		
(3) その他固定資産			
その他固定資産合計	0		
固定資産合計	0		
資産合計	5,500,100		
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	358,554		
未払法人税等	1,608,100		
流動負債合計	1,966,654		
2. 固定負債			
固定負債合計	0		
負債合計	1,966,654		
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計			
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)			
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	3,533,446		
負債 及び 正味財産 合計	5,500,100		

正味財産増減計算書

2021年3月31日現在

科目	当年度(円)	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
特定資産運用益			
正会員年会費			
賛助会員年会費			
調査研究事業収益	5,500,000		
受取補助金等			
受取負担金			
寄付金収入	0		
受取利息			
経常収益計	5,500,000		
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当等			
調査研究事業費			
研究集会費			
管理費			
消耗品費			
委託費			
事務用品費	13,865		
手数料	1,545		
租税公課	70,000		
交際接待費	16,500		
通信費	520		
法人税、住民税及び事業税	1,608,100		
経常費用計	1,710,530		
評価損益等調整前当期経常増減額	3,789,470		
基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等			
投資有価証券評価損益等			
評価損益等計	0		
当期経常増減額	3,789,470		
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益			
経常外収益計	0		
(2) 経常外費用			
固定資産売却損			
経常外費用計	256,024		
当期経常外増減額	-256,024		
当期一般正味財産増減額	3,533,446		
一般正味財産 期首残高	0		
一般正味財産 期末残高	3,533,446		
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
一般正味財産への振替額			
当期指定正味財産増減額	0		
指定正味財産 期首残高	0		
指定正味財産 期末残高	0		
III 正味財産期末残高	3,533,446		

監査報告

2020年度一般社団法人 QOL-PRO 研究会

会計監査報告

QOL-PRO 研究会

代表理事 鈴嶋 よしみ 殿

2020年度（2020年11月27日～2021年3月31日）の歳入歳出予算の執行について、関係書類及び金銭に関する証書等を監査した結果、適正に執行されていると認める。

2021年 6月 1日

監事 下妻 晃二郎



2. 2021 年度事業計画の件

2020 年度会員総会にて決定した通り、2021 年度は下記の事業を行う。

(1) QOL と PRO の研究に関する学術集会やセミナーの企画、運営に関する事業

(ア) 研究セミナー

- 1) 第 15 回研究セミナー（担当評議員：錦織達人）

2021 年 7 月 17 日（土）、オンライン開催

- 2) 第 16 回研究セミナー（担当評議員：白岩 健）

2022 年 3 月 日、会場未定

(イ) 第 9 回学術集会

実行委員長：田村暢一郎、副委員長：林田りか

2021 年 11 月 20 日、オンライン開催

(2) QOL と PRO に関する調査・研究事業

① 「日本語版 PROMIS の項目・QOL 質問票開発のための調査業務」サポート業務

株式会社インテージヘルスケアから事前打診があり、昨年実施した本業務を引きつづき委託される可能性あり。その場合は、受託し実施する。

(3) QOL と PRO の研究に関する会誌等刊行物の発行に関する事業

研究会誌の発行に関しては継続して審議を行う。

(4) QOL と PRO の研究の関連領域に関わる国内外の個人、公的機関、学術団体との連絡、協力、連携、および交流に関する事業

① 国際 QOL 研究学会（ISOQOL）Japan SIG との連携

・(1)に記載した学術集会やセミナーの後援を依頼

・共催セミナーの実施：ISOQOL 28th Annual Conference (10 月 21-28 日)開催後に、参加報告会を共同で開催（日程候補：12 月 25 日）

② 他学会との連携

他学会でのセッション開催を継続して検討する。関連団体セミナー等の後援を行う。

(5) QOL と PRO の研究に関する情報をホームページやメーリングリスト等のウェブサービスを通して提供する事業

(ア) 文献紹介について

・毎月 1 文献を HP で公開するとともにメール通信にて会員配信

(イ) HP による情報公開

・HP リニューアル作業実施。11 月学術集会までに新 HP 公開を目指す。

(ウ) メール通信、Twitter 配信

- ・ 毎月初旬に配信。内容：文献紹介、HP アップデート情報、会員からのお知らせ、その他
- ・ Twitter にて都度情報配信

(6) QOL と PRO に関する研究者や専門家等の人材育成と教育に関する事業

(ア) 研究相談会

- ・ セミナー実施時に行う予定であったが、本年はオンライン開催のため実施しない。

(イ) QOL-PRO 初学者向け書籍の作成

- ・ 企画済み。原稿作成中。今期内発行

(ウ) Web 上での e-learning コンテンツ作成

(エ) 合宿勉強会

- ・ 次年度実施に向けてプログラム委員会（内藤、岩谷、林田）を組織して、準備を進める。

(7) 前各号に附帯又は関連する一切の事業

(ア) 各種委員会の設置

- ・ 学術委員会
- ・ 広報委員会
- ・ 次世代 QOL-PRO 研究者の会
- ・ PROMIS ワーキンググループ
- ・ 教科書ワーキンググループ

※会員はワーキンググループを申請できることを周知する。

3. 2021 年度収支予算

科目	収支 (円)	主な内容
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員年会費	1,290,000	8000×150名+3000×30名
賛助会員年会費	150,000	50000×3口
受取会費計	1,440,000	
2 事業収益		
調査研究事業収益		
その他事業収益	230,000	会員 2000円×40名+非会員 5000円×30名
事業収益計	230,000	
2 寄付金収入	2,834,645	任意団体合併に伴う財産寄付
3 受取利息	0	
経常収益計	4,504,645	
II 経常費用		
1 事業費		
給料手当等	150,000	講師謝金
調査研究事業費		
研究集会費	400,000	学術集会 20万、セミナー10万×2
通信費	525,920	HP リニューアル、モバイルバンク使用料 2160×12ヵ月
その他事業費		
事業費計	1075,920	
2 管理費		
(1)人件費		
給料手当	0	
雑給	0	
法定福利費	0	
人件費計	0	
(2)その他経費		
水道光熱費	0	
旅費交通費	0	
会議費	50,000	理事会・社員総会会議室料など
通信費	20,000	郵送料など
地代家賃	0	
保険料	0	
租税公課	0	
消耗品費	20,000	紙、インク等
委託費	850,000	事務局委託 50万・税務指導 35万
支払手数料	12,000	1000円×12ヵ月
雑費	0	
その他経費計	952,000	
管理費計	952,000	
経常費用計	2,027,920	
当期経常増減額	2,476,725	
III 経常外収益		
経常外費用計		
税引前当期正味財産増減額	2,476,725	
法人税、住民税及び事業税	72,000	法人住民税均等割
前期繰越正味財産額	3,533,446	
次期繰越正味財産額	5,938,171	

4. 名誉会員推薦の件

当法人の定款および名誉会員に関する細則に則り、“当法人の役員を務めた社員であって、役員の定年（原則として 70 歳）に達し功労ある者”として、宮崎貴久子氏を名誉会員に推薦する。

なお、名誉会員は、年会費納入義務が免除され、学術集会やセミナーは正会員参加費にて参加、社員となる権利は喪失、その他の正会員の権利（学術集会での発表、メール通信等の受信、等）は維持される。

5. 理事数、監事数、社員数に関する件

本法人定款には、理事数、社員数について下記のように定められている。

(社員) 第6条2項 当法人の社員の定数は、総会員数の約1割程度とし、社員を選出する
会員総会に際し、その都度、具体的な定数を理事会において予め決定する。

(役員) 第20条 当法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事3名以上
- (2) 監事2名以内

社員は現在15名であるが、会員数が190名であること、第4号議案に基づき社員数が1
減ずることを踏まえ、次期(2022年度)に3名程度増員する。

理事は現在3名であるが、1、2名増員して4、5名とする。

監事は現在1名であるが、1名増員して2名とする。

別紙 (任意団体) QOL/PRO 研究会 報告

1. 2020 年度事業報告

(1) QOL と PRO の研究に関する学術集会やセミナーの企画、運営に関する事業

Covid-19 の状況下において、対面のセミナーを中止してオンライン特別セミナーを実施した。学術集会もオンラインにて実施した。

(ア) 研究セミナー・特別セミナー

1) 第 1 回オンライン特別セミナー

日時・場所：2020 年 9 月 12 日（土）15:00-17:00

参加人数：60 名（会員のみ）

講演：「”エビデンス”と”ナラティブ”を考える」中山健夫（京都大学）

2) 第 2 回オンライン特別セミナー

日時・場所：2020 年 10 月 31 日（土）15:00-17:00

参加人数：64 名（会員のみ）

講演：『価値』に基づく医療の時代を迎えてー健康アウトカム評価の役割
下妻晃二郎（立命館大学）

3) 第 14 回研究セミナー（担当：内藤真理子）

日時・場所：2021 年 2 月 6 日（土）13:30-15:30 オンライン開催

参加人数：128 名（会員 70 名、非会員 58 名）

テーマ：デジタル化時代における医療・健康データとその活用

・「IoT データを活用した臨床疫学研究の拡張」

福間 真悟（京都大学）

・「ディープラーニングによるテキスト分析技術の動向と感情分析への応用」

岩井原 瑞穂（早稲田大学）

・「EORTC と連携した ePRO 研究と将来展望」

木川 雄一郎（関西医科大学）

(イ) 第 8 回学術集会

大会実行委員長：齋藤信也（岡山大学）

日時・場所：2020 年 12 月 19 日（土）13:30-17:00

オンライン開催

参加人数：109 名（会員 73 名、非会員 36 名）

プログラム

➤ 教育講演 宮崎貴久子（京都大学）

「QOL 初学者に知っておいてほしいこと」

- 会長講演 齋藤信也（岡山大学）
「QOLに関わる倫理問題」
- シンポジウム
 1. QOLを測る
平 成人（岡山大学）
 2. QOLを価値づける
能登真一（新潟医療福祉大学）
- 一般演題：3 演題

(2) QOL と PRO に関する調査・研究事業

任意団体 QOL/PRO 研究会としては当該年度の活動なし。

(3) QOL と PRO の研究に関する会誌等刊行物の発行に関する事業

当該年度の活動なし。

(4) QOL と PRO の研究の関連領域に関わる国内外の個人、公的機関、学術団体との連絡、協力、連携、および交流に関する事業

(ア) 国際 QOL 研究学会 (ISOQOL) Japan SIG との連携

第 8 回学術集会および第 14 回研究セミナーにおいて、後援を受けた。

(5) QOL と PRO の研究に関する情報をホームページやメーリングリスト等のウェブサービスを通して提供する事業

1) 文献紹介について

世話人が持ち回りで文献を抄読した原稿を作成し、HP で公開するとともにメール通信にて会員配信した。2020 年度は 11 文献を紹介した。

2) HP の運営、情報公開

平均月 1 回更新を行い、文献紹介、活動紹介、活動の事前告知などを行った。

3) メール通信

文献紹介、HP アップデート情報、研究セミナーの告知などの情報を掲載し、毎月初旬に配信した。2020 年度末までに第 88 号までを配信した。

4) Twitter 配信

6 月に Twitter での情報配信を開始した。

(6) QOL と PRO に関する研究者や専門家等の人材育成と教育に関する事業

オンラインセミナーの一部を講演者の許可を得て録画したので、今後の教育活動に活かすことを検討していくこととした。

(7) その他

1) 総会

2020年12月19日（土）12:30～13:20に、オンラインで実施した。47名が参加し、2019年度の事業報告と収支報告（一般会計・特別会計）、2021年度事業計画と予算、一般社団法人の設立報告、第5期運営体制が承認された。

2) 世話人会

- 2020年度第1回世話人会

2020年5月1日（月）14時15分から16時05分まで、オンラインにて実施した。第8回学術集会のプログラム・会場等検討、社団法人化の会員承認、世話人会の組織編成、世話人の選出方法について協議した。

- 2020年度第2回世話人会

2020年7月27日（月）18時から19時50分まで、オンラインにて実施した。各委員会からの活動報告や法人化の進捗について報告があった。また、COVID-19感染予防にてセミナーが中止になっていることを受け、オンライン特別セミナーを開催することが決定された。

- 2020年度第3回世話人会（社団法人第1回評議員会）

2020年12月11日（金）19時30分から21時5分まで、オンラインにて実施した。第8回学術集会の準備状況や第14回研究セミナーの準備状況、社団法人設立、各委員会の活動について報告があった。総会議案（2019年度事業報告・収支決算、2021年度事業計画、等）について承認された。

- 2020年度第4回世話人会（社団法人第2回評議員会）

2021年2月22日（月）18時から19時30分まで、オンラインにて実施した。法人定款細則、アクセライト社への事務局業務一部委託、次年度の役員体制について承認された。委員会活動について報告があった。

2. 収支報告

1) 2020 年度一般会計収支決算報告 (2020 年 4 月 1 日～2021 年 5 月 27 日)

科 目	予算額	決算額	差額	備 考
I 収入の部				
1 入会金・会費収入				
正会員年会費収入	810,000	950,000	▲ 140,000	
賛助会員会費収入	100,000	100,000	0	賛助会員×2件
2 事業収入				
事業収入	0	0	0	学術集会参加費収入
3 寄付金収入	0	0	0	
4 繰越金	2,169,700	2,169,770	▲ 70	前年度繰越金
5 その他	0	28	▲ 28	預金利息
収入合計	3,079,700	3,219,798	▲ 140,098	
II 支出の部				
1 事業費				
研究集会	350,000	351,061	▲ 1,061	学術集会 213,202 円、 研究セミナー137,859 円
2 管理費				
人件費	120,000	0	120,000	
謝金	40,000	0	40,000	
会議費(世話人会)	40,000	0	40,000	
通信費	10,000	1,092	8,908	郵送料
Journal 編集費	300,000	0	300,000	
消耗品費	10,000	0	10,000	
雑費	87,920	33,000	54,920	モバイル手数料 2,200 円 ×14 ヶ月、銀行手数料
旅費・交通費	0	0	0	
3 予備費	2,080	0	2,080	
支出合計	960,000	385,153	574,847	
当期収支差額	2,119,700	2,834,645	▲ 714,945	
次期繰越	2,119,700	2,834,645	▲ 714,945	

※ 今年度は学術集会を無料で実施したため、特別会計とせずに、学術集会支出を一般会計扱いとした。

※繰越額 2,834,645 円は、法人口座に移動した。

監査報告

2020 年度 QOL/PRO 研究会


会計監査報告

QOL・PRO 研究会

代表理事 鈴鴨 よしみ 殿

2020 年度（2020 年 4 月 1 日～2021 年 5 月 27 日）の歳入歳出予算の執行について、関係書類及び金銭に関する証書等を監査した結果、適正に執行されていると認める。

2021 年 6 月 1 日

監事 下妻 晃二郎 

監事 内藤 真理子 